

# 臨床指標

## クリニカルインディケータ



J A 岐 阜 厚 生 連  
岐 阜 ・ 西 濃 医 療 セ ン タ ー  
揖 斐 厚 生 病 院  
令 和 元 年 9 月 作 成

# 目次

## 病院全体の指標

- 1-1 患者数  
    外来患者数、入院患者数、1日あたり患者数
- 1-2 平均在院日数
- 1-3 病床稼働率
- 1-4 主要疾患別患者数
- 1-5 主要な手術件数
- 1-6 化学療法件数
- 1-7 救急車搬送患者数・救急患者数
- 1-8 褥瘡推定発生率・有病率
- 1-9 MRSA発生率
- 1-10 転倒・転落率

## 各科に関する指標

- 2-1 薬剤に関する指標  
    処方箋枚数、無菌製剤処理件数
- 2-2 画像診断に関する指標  
    検査項目別実施件数、共同器機利用件数
- 2-3 臨床検査に関する指標  
    救急医療指数、検査項目別実施件数
- 2-4 リハビリテーションに関する指標  
    疾患別リハビリテーション実施件数
- 2-5 栄養に関する指標  
    栄養指導実施件数、栄養サポートチーム回診件数、NST外来件数
- 2-6 医療機器の安全管理に関する指標

## 看護に関する指標

- 3-1 認定看護師
- 3-2 特定行為看護師

## 地域医療連携に関する指標

- 4-1 紹介率・逆紹介率

## 病院全体の指標

### 1-1 外来・入院の新患者数・延患者数・1日あたり患者数

外来患者及び入院患者の延患者数と1日あたり平均して何人の患者さんが外来を受診されたか、また入院されているかを表す数値です。

#### 【外来】

[単位：人]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規患者数	28,744	28,299	24,794	24,116	22,712
延患者数	138,455	133,535	125,101	121,104	113,938
1日あたり患者数	567.5	549.5	514.8	496.3	467.0

#### 【入院】

[単位：人]

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
患者数	新規患者数	3,317	3,242	3,018	3,112	2,725
	延患者数	73,546	76,424	76,624	76,856	70,802
1日当	一般病棟	150.3	135.9	134.5	136.5	121.5
	地域包括ケア病棟	37.4	40.2	43.5	45.3	37.1
	医療療養病棟	32.5	32.7	31.9	28.8	35.4
	計	220.2	208.8	209.9	210.6	194.0

## 1-2 平均在院日数の推移

平均在院日数とは、入院患者さんが平均して何日間在院したかを示す数値です。

病院の機能や患者さんの重症度などにより在院日数は変動するものであり、医療管理上のみならず病院経営の面からも重要な指標となっています。

[単位：日]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般病棟（7：1）	17.2	15.7	17.3	16.6	17.0
地域包括ケア病棟	36.9	40.2	37.2	36.7	38.6
医療療養病棟	255.9	102.6	108.6	267.7	232.8

## 1-3 病床稼働率

病床稼働率は、病床（ベッド）がどれだけ利用されているかを示す数値です。数値が高いほど効率よく病床が利用されていることを表します。

[単位：%]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般病棟（7：1）	74.6	78.1	77.3	78.4	69.8
地域包括ケア病棟	68.1	73.2	79.1	82.3	67.5
医療療養病棟	62.5	62.8	61.4	55.4	68.1
全体	71.7	74.3	74.7	74.9	69.0

## 1-4 主要疾患別患者数

主要疾患別患者数は、退院された患者さんの疾患（最も医療資源を投入した傷病名）を国際疾病分類（ICD）に分類し、統計化したものです。当院がどのような医療を行っているのかを最も端的に表しており、経年変化を注視することにより、地域医療に果たす役割を分析する指標となります。

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
A02 その他のサルモネラ感染症		2			1
A04 その他の細菌性腸管感染症	16	10	12	19	17
A08 ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症		9	3	4	2
A09 感染症と推定される下痢および胃腸炎	52	54	44	19	18
A16 呼吸器結核、細菌学的または組織学的に確認されていないもの	2		1	4	1
A31 その他のマイコバクテリアによる感染症	1	2	1	1	1
A40 レンサ球菌性敗血症	1	1	2	1	
A41 その他の敗血症	27	34	28	37	24
A48 その他の細菌性疾患、他に分類されないもの					1
A49 部位不明の細菌感染症	1	1	2	5	
A60 肛門性器ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症			1		
A75 発疹チフス		1	2	1	
A79 その他のリケッチア症				1	
A81 中枢神経系のスローウイルス感染症	3	6	4	2	6
A86 詳細不明のウイルス（性）脳炎			1	3	1
A87 ウイルス（性）髄膜炎			1		
A93 その他の節足動物媒介ウイルス熱、他に分類されないもの					1
B00 ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症	5	6	1	2	2
B01 水痘 [鶏痘]	1				
B02 帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	2	1	2	6	
B08 皮膚および粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの		3			
B17 その他の急性ウイルス肝炎					1
B18 慢性ウイルス肝炎	3	2	8	4	1
B26 ムンプス	1	1	1	3	
B27 伝染性単核症	1	3	1		
B34 部位不明のウイルス感染症		1			
B37 カンジダ症	1	3		1	
B44 アスペルギルス症	1				1
B49 詳細不明の真菌症				1	
B59 ニューモシスチス症					1
B90 結核の続発・後遺症				1	

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
C02 その他および部位不明の舌の悪性新生物	2				
C08 その他および部位不明の大唾液腺の悪性新生物					3
C10 中咽頭の悪性新生物				1	
C14 その他および部位不明の口唇、口腔および咽頭の悪性新生物					1
C15 食道の悪性新生物	9	1	5	7	9
C16 胃の悪性新生物	98	100	52	46	62
C17 小腸の悪性新生物			2	6	
C18 結腸の悪性新生物	102	85	40	41	59
C19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物	11	2	14	15	3
C20 直腸の悪性新生物	58	71	46	62	57
C21 肛門および肛門管の悪性新生物	1	2			
C22 肝および肝内胆管の悪性新生物	15	15	11	8	10
C23 胆のう<嚢>の悪性新生物	2	2	1	5	8
C24 その他および部位不明の胆道の悪性新生物	8	30	10	8	6
C25 膵の悪性新生物	5	10	16	23	15
C26 その他および部位不明の消化器の悪性新生物					1
C34 気管支および肺の悪性新生物	49	44	40	44	37
C37 胸腺の悪性新生物				1	
C38 心臓、縦隔および胸膜の悪性新生物				1	
C41 その他および部位不明の骨および関節軟骨の悪性新生物	3				
C44 皮膚のその他の悪性新生物			1		4
C45 中皮腫				1	1
C48 後腹膜および腹膜の悪性新生物				1	1
C49 その他の結合組織および軟部組織の悪性新生物	1			1	
C50 乳房の悪性新生物	42	28	29	34	40
C53 子宮頸（部）の悪性新生物	3			1	1
C56 卵巣の悪性新生物	1		9	2	5
C61 前立腺の悪性新生物	4	5	8	11	10
C62 精巣<睾丸>の悪性新生物	3	1			2
C64 腎盂を除く腎の悪性新生物	4	1	3	7	4
C65 腎盂の悪性新生物	2		1		1
C66 尿管の悪性新生物	6			4	2
C67 膀胱の悪性新生物	19	24	34	41	49
C71 脳の悪性新生物		3			
C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物	1			1	
C78 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	31	42	47	41	21
C79 その他の部位の続発性悪性新生物	10	18	9	4	3
C80 部位の明示されない悪性新生物	6		4	2	1
C83 びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫		1		4	1
C84 末梢性および皮膚T細胞リンパ腫	1	1		2	

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
C85 非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他および詳細不明の型	3	2	3		1
C88 悪性免疫増殖性疾患			1		
C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞腫瘍	4	2	1	1	
C95 細胞型不明の白血病			1		
D09 その他および部位不明の上皮内癌					1
D12 結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物		1	2	3	2
D13 消化器系のその他および部位不明確の良性新生物		1	1		
D16 骨および関節軟骨の良性新生物					1
D17 良性脂肪腫性新生物（脂肪腫を含む）		1	3		
D18 血管腫およびリンパ管腫、各部位					1
D21 結合組織およびその他の軟部組織のその他の良性新生物	1			1	1
D24 乳房の良性新生物		1			1
D25 子宮平滑筋腫	4	1			
D27 卵巣の良性新生物	5		1	1	
D29 男性性器の良性新生物			1		
D32 髄膜の良性新生物			2		2
D34 甲状腺の良性新生物			2		
D37 口腔および消化器の性状不詳または不明の新生物	4	3	3	7	
D38 中耳、呼吸器および胸腔内臓器の性状不詳または不明の新生物				2	
D39 女性性器の性状不詳または不明の新生物	1	1	1		
D40 男性性器の性状不詳または不明の新生物		1			2
D41 泌尿器の性状不詳または不明の新生物	1	1	1	3	
D43 脳および中枢神経系の性状不詳または不明の新生物				1	1
D44 内分泌腺の性状不詳または不明の新生物		2	1		
D46 骨髄異形成症候群	4	4	6	3	4
D48 その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	19	2	8	4	4
D50 鉄欠乏性貧血	8	10	14	9	7
D51 ビタミンB12欠乏性貧血	1				1
D52 葉酸欠乏性貧血		1	1	1	
D53 その他の栄養性貧血				1	
D59 後天性溶血性貧血			2		2
D61 その他の無形成性貧血	3		1	4	4
D62 急性出血後貧血	2		1		1
D64 その他の貧血				1	
D65 播種性血管内凝固症候群〔脱線維素症候群〕	10	6	10	11	5
D69 紫斑病およびその他の出血性病態	3	9	5		3
D70 無顆粒球症	2	2	3		2
D72 白血球のその他の障害				1	
D76 リンパ細網組織および細網組織球系の疾患	1				
D86 サルコイドーシス				1	

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
D89 その他の免疫機構の障害、他に分類されないもの					1
E03 その他の甲状腺機能低下症	1		2	1	2
E05 甲状腺中毒症〔甲状腺機能亢進症〕	1		1		
E06 甲状腺炎				2	
E10 インスリン依存性糖尿病< I DDM >	2	3	4	2	4
E11 インスリン非依存性糖尿病< N I DDM >	58	60	40	47	48
E13 その他の明示された糖尿病	1				
E14 詳細不明の糖尿病	4		5	1	
E15 非糖尿病性低血糖性昏睡	2				
E16 その他の膵内分泌障害	9	2	2	2	3
E22 下垂体機能亢進症		1		1	
E23 下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害	4	6	1	2	3
E27 その他の副腎障害	1	1			1
E43 詳細不明の重度たんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調（症）	1	8	9	5	15
E44 中等度および軽度のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調（症）	21	31	27	27	26
E51 チ<サイ>アミン欠乏症				1	
E53 その他のビタミンB群の欠乏症				2	
E66 肥満（症）				1	
E72 その他のアミノ酸代謝障害	1		1		
E77 糖たんぱく<蛋白>代謝障害	2		1		
E78 リポたんぱく<蛋白>代謝障害およびその他の脂（質）血症	1				
E83 ミネラル<鉱質>代謝障害			1		
E86 体液量減少（症）	54	40	46	51	17
E87 その他の体液、電解質および酸塩基平衡障害	7	6	15	8	6
E88 その他の代謝障害			1		
E89 処置後内分泌および代謝障害、他に分類されないもの	1				
F01 血管性痴呆		1	1	1	
F03 詳細不明の痴呆		4		1	1
F06 脳の損傷および機能不全ならびに身体疾患によるその他の精神障害			1		
F10 アルコール使用<飲酒>による精神および行動の障害	5	7	4	6	
F20 精神分裂病				1	
F32 うつ病エピソード					1
F41 その他の不安障害			1		
F43 重度ストレスへの反応および適応障害			1		
F45 身体表現性障害		1			2
F50 摂食障害	3	1	2	10	5
G00 細菌性髄膜炎、他に分類されないもの	2	3			
G03 その他および詳細不明の原因による髄膜炎	1		3	1	
G06 頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	1				
G09 中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症	1	1	1	2	



[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
G12 脊髄性筋萎縮症および関連症候群	1	1	3	4	2
G20 パーキンソン<Parkinson>病	11	14	11	13	8
G21 続発性パーキンソン<Parkinson>症候群		1	3		
G23 基底核のその他の変性疾患		4	1	1	2
G25 その他の錐体外路障害および異常運動				1	1
G30 アルツハイマー<Alzheimer>病	5	13	16	6	4
G31 神経系のその他の変性疾患、他に分類されないもの	6	7	3	1	1
G35 多発性硬化症		3		1	
G40 てんかん	5	7	14	21	14
G41 てんかん重積（状態）			1		1
G43 片頭痛				1	2
G44 その他の頭痛症候群	1				
G45 一過性脳虚血発作および関連症候群	15	6	7	11	8
G47 睡眠障害	2	1	4	1	6
G51 顔面神経障害			1		
G52 その他の脳神経障害				1	
G56 上肢の単ニューロパチ<シ>ー		2	4	3	
G61 炎症性多発（性）ニューロパチ<シ>ー		3			3
G70 重症筋無力症およびその他の神経筋障害	1				
G71 原発性筋障害					2
G72 その他のミオパチ<シ>ー				5	3
G80 脳性麻痺			3	1	2
G81 片麻痺		1		1	
G82 対麻痺および四肢麻痺				1	
G83 その他の麻痺性症候群	2	4	8		1
G90 自律神経系の障害	6	13	19	9	5
G93 脳のその他の障害	2	5	3	12	10
G97 神経系の処置後障害、他に分類されないもの	1				
H00 麦粒腫およびさんく霰>粒腫				1	
H16 角膜炎	1				1
H25 老人性白内障	44	45	55	54	54
H28 他に分類される疾患における白内障および水晶体のその他の障害			2		
H44 眼球の障害			1		
H59 眼および付属器の処置後障害、他に分類されないもの		1			
H65 非化膿性中耳炎			1	1	
H66 化膿性および詳細不明の中耳炎	3	2		1	
H81 前庭機能障害	34	30	27	24	21
I05 リウマチ性僧帽弁疾患		1	2	1	
I07 リウマチ性三尖弁疾患	3		1		
I08 連合弁膜症			4		3

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
I10 本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	3	2	3	3	1
I11 高血圧性心疾患			6		2
I12 高血圧性腎疾患				1	
I20 狭心症	72	62	73	65	43
I21 急性心筋梗塞	23	34	37	30	13
I24 その他の急性虚血性心疾患			1		
I25 慢性虚血性心疾患	37	43	36	43	49
I26 肺塞栓症	1	1	2		
I27 その他の肺性心疾患	1	3		4	2
I30 急性心膜炎					1
I31 心膜のその他の疾患		1		2	2
I33 急性および亜急性心内膜炎	1	2	2		1
I34 非リウマチ性僧帽弁障害	17	17	7	16	18
I35 非リウマチ性大動脈弁障害	19	12	18	15	13
I42 心筋症		7	3	5	1
I44 房室ブロックおよび左脚ブロック	4	15	1	7	5
I45 その他の伝導障害		1			2
I46 心停止	6	7	9	2	2
I47 発作性頻拍（症）	3	5	3	1	
I48 心房細動および粗動	12	13	26	25	22
I49 その他の不整脈	9	9	9	12	10
I50 心不全	83	105	91	93	112
I51 心疾患の合併症および診断名不明確な心疾患の記載	1	5	2		2
I60 くも膜下出血	7	7	4	4	4
I61 脳内出血	44	36	45	51	31
I62 その他の非外傷性頭蓋内出血				6	3
I63 脳梗塞	148	132	186	139	135
I65 脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの		1	1		
I66 脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	1		2		1
I67 その他の脳血管疾患	7	6	5		2
I69 脳血管疾患の続発・後遺症	35	34	33	28	32
I70 アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化（症）	11	3	1	6	4
I71 大動脈瘤および解離	16	6	14	11	12
I72 その他の動脈瘤				1	
I74 動脈塞栓症および血栓症	2	4		2	3
I77 動脈および細動脈のその他の障害				1	
I80 静脈炎および血栓（性）静脈炎	3	7	3	3	1
I83 下肢の静脈瘤				2	
I84 痔核	5	7	2	5	
I85 食道静脈瘤	2	1	1	1	

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
I88 非特異性リンパ節炎	3	1	2		
I89 リンパ管およびリンパ節のその他の非感染性障害		1			
I95 低血圧（症）		1	2		
J01 急性副鼻腔炎	1			1	
J02 急性咽頭炎	8	14			2
J03 急性扁桃炎	28	26	4	5	4
J04 急性喉頭炎および気管炎	7	4		2	
J05 急性閉塞性喉頭炎〔クループ〕および喉頭蓋炎		1	1	1	
J06 多部位および部位不明の急性上気道感染症	19	24	5		
J10 インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	3	2	3	1	2
J11 インフルエンザ，インフルエンザウイルスが分離されないもの	1		4	3	1
J12 ウイルス肺炎，他に分類されないもの	10	7	1	1	6
J13 肺炎レンサ球菌による肺炎	15	19	5	12	16
J14 インフルエンザ菌による肺炎	2	2	7	12	6
J15 細菌性肺炎，他に分類されないもの	65	68	78	70	62
J16 その他の感染病原体による肺炎，他に分類されないもの	1				
J18 肺炎，病原体不詳	113	129	108	90	85
J20 急性気管支炎	29	36	11	8	8
J21 急性細気管支炎	2	6	1		
J36 扁桃周囲膿瘍	10	3	9	6	9
J38 声帯および喉頭の疾患，他に分類されないもの	3	1			
J39 上気道のその他の疾患	1				
J42 詳細不明の慢性気管支炎					1
J43 肺気腫	5	15	7	11	11
J44 その他の慢性閉塞性肺疾患	5	1	2		11
J45 喘息	14	9	3	2	4
J46 喘息発作重積状態	21	28	11	16	6
J47 気管支拡張症				1	
J67 有機粉じん<塵>による過敏性肺臓炎				1	
J69 固形物および液状物による肺臓炎	205	202	198	216	169
J70 その他の外的因子による呼吸器病態	4				
J80 成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>				1	5
J81 肺水腫	1				
J82 肺好酸球症，他に分類されないもの	1				1
J84 その他の間質性肺疾患	17	14	24	18	12
J85 肺および縦隔の膿瘍	6	8	3	5	3
J86 膿胸（症）	9	3	1	2	5
J90 胸水，他に分類されないもの	6	2	10	5	3
J93 気胸	16	11	19	12	17
J94 その他の胸膜病態	2			1	

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
J96 呼吸不全, 他に分類されないもの	11	8	11	2	5
J98 その他の呼吸器障害	1		3	1	1
K01 埋伏歯			1		
K04 歯髄および根尖歯周組織の疾患			1	1	1
K06 歯肉および無歯顎堤のその他の障害			1		
K07 歯顎顔面(先天)異常 [不正咬合を含む]	1	2	1	1	2
K10 顎骨のその他の疾患				1	
K11 唾液腺疾患			1	2	
K20 食道炎		2			
K21 胃食道逆流症	2		1	2	3
K22 食道のその他の疾患	5	4	5	11	3
K25 胃潰瘍	43	38	21	27	23
K26 十二指腸潰瘍	5	8	7	7	6
K28 胃空腸潰瘍		2			
K29 胃炎および十二指腸炎	3	5	5	1	4
K30 消化不良(症)		2			1
K31 胃および十二指腸のその他の疾患	9	5	5	1	6
K35 急性虫垂炎	32	25	21	20	30
K36 その他の虫垂炎	3	1	3	2	2
K40 そけい<鼠径>ヘルニア	44	44	44	50	54
K41 大腿<股>ヘルニア	4	11	1	1	4
K42 臍ヘルニア	1		2	1	1
K43 腹壁ヘルニア	3	5	1	1	1
K44 横隔膜ヘルニア	1	2	2		2
K45 その他の腹部ヘルニア	3	2	2	1	1
K46 詳細不明の腹部ヘルニア	1	1			
K50 クローン<Crohn>病 [限局性腸炎]				1	
K51 潰瘍性大腸炎	6	6	4	1	1
K52 その他の非感染性胃腸炎および非感染性大腸炎					2
K55 腸の血行障害	15	17	24	25	17
K56 麻痺性イレウスおよび腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	57	77	89	80	72
K57 腸の憩室性疾患	19	13	23	25	22
K58 過敏性腸症候群		1			
K59 その他の腸の機能障害	3	1	3		4
K60 肛門部および直腸部の裂(溝)および瘻(孔)	1		1	1	
K61 肛門部および直腸部の膿瘍			1		1
K62 肛門および直腸のその他の疾患	24	18	26	31	35
K63 腸のその他の疾患	135	130	123	145	163
K65 腹膜炎	13	13	19	9	9
K66 腹膜のその他の障害				1	

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
K70 アルコール性肝疾患	1	8	2	11	7
K71 中毒性肝疾患		3	3	4	
K72 肝不全, 他に分類されないもの	6	7	2	6	1
K74 肝線維症および肝硬変	13	11	9	9	1
K75 その他の炎症性肝疾患	5	1	5		
K76 その他の肝疾患	1		1	2	2
K80 胆石症	76	55	69	82	74
K81 胆のう<嚢>炎	6	8	10	13	7
K82 胆のう<嚢>のその他の疾患	2		2	2	1
K83 胆道のその他の疾患	6	10	11	7	2
K85 急性膵炎	17	12	20	18	10
K86 その他の膵疾患	2	1		1	5
K90 腸性吸収不良(症)				1	
K91 消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	9	12	4	2	6
K92 消化器系のその他の疾患	8	9	16	6	10
L00 ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群<SSSS>	1		1		
L02 皮膚膿瘍, せつ<フルンケル>および よう<カルブンケル>	1	2	2		2
L03 蜂巣炎	25	29	14	34	28
L04 急性リンパ節炎	3	3		1	1
L12 類天疱瘡				1	
L20 アトピー性皮膚炎		1			1
L27 摂取物質による皮膚炎	3	3	1	1	
L30 その他の皮膚炎			1		
L50 じんま<蕁麻>疹	1		2		
L51 多形紅斑	3	1	1	1	
L52 結節性紅斑			1		
L72 皮膚および皮下組織の毛包のう<嚢>胞			1		
L89 じょく<褥>瘡性潰瘍	7	13	8	5	17
L97 下肢の潰瘍, 他に分類されないもの	1	1	3		
L98 皮膚および皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの	2				
M00 化膿性関節炎	2	4	4	2	1
M05 血清反応陽性慢性関節リウマチ	2	5	1		1
M06 その他の慢性関節リウマチ	4	7		3	1
M11 その他の結晶性関節障害			3		1
M13 その他の関節炎	1	1	1		1
M16 股関節症 [股関節部の関節症]	2	6	6	4	4
M17 膝関節症 [膝の関節症]	5	5	10	5	2
M20 指および趾<足ゆび>の後天性変形	1				
M23 膝内障	2				
M24 その他の明示された関節内障	3				

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
M30 結節性多発（性）動脈炎および関連病態	4	3			
M31 その他のえく壊＞死性血管障害		1			2
M32 全身性エリテマトーデス＜紅斑性狼瘡＞＜SLE＞	2				
M34 全身性硬化症					1
M35 その他の全身性結合組織疾患		3	1	5	2
M41 （脊柱）側弯（症）	1		1	2	1
M43 その他の変形性脊柱障害			2	1	
M46 その他の炎症性脊椎障害	3	1	1		1
M47 脊椎症	7	17	24	13	10
M48 その他の脊椎障害	12	18	26	27	9
M51 その他の椎間板障害	7	9	8	3	2
M54 背部痛	5	4	7	4	2
M60 筋炎	1		1		
M62 その他の筋障害	7	25	41	67	62
M65 滑膜炎および腱鞘炎		1			
M67 滑膜および腱のその他の障害		1			
M70 使用，過使用および圧迫に関連する軟部組織障害			1	1	
M71 その他の滑液包障害		1			
M72 線維芽細胞性障害	5	3		1	1
M79 その他の軟部組織障害，他に分類されないもの			1		
M80 骨粗しょうく鬆＞症＜オステオポロシス＞，病的骨折を伴うもの				10	4
M81 骨粗しょうく鬆＞症＜オステオポロシス＞，病的骨折を伴わないもの	1				
M84 骨の癒合障害	3	2	1	8	4
M86 骨髄炎	4	1	1	8	3
M87 骨えく壊＞死	1	1	2	2	
M89 その他の骨障害				1	1
M96 処置後筋骨格障害，他に分類されないもの	2	2		2	2
N00 急性腎炎症候群		1			
N01 急速進行性腎炎症候群				1	
N04 ネフローゼ症候群	3	5	2	3	1
N10 急性尿細管間質性腎炎	79	56	51	58	56
N11 慢性尿細管間質性腎炎		1		2	2
N12 尿細管間質性腎炎，急性または慢性と明示されないもの				1	
N13 閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患	4	2	1	3	3
N14 薬物および重金属により誘発された尿細管間質および尿管の病態		1			
N17 急性腎不全	17	10	14	16	36
N18 慢性腎不全	33	43	42	45	52
N19 詳細不明の腎不全	14	5	3	3	4
N20 腎結石および尿管結石	21	22	10	20	30
N21 下部尿路結石	3	2	2	6	4

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
N28 腎および尿管のその他の障害，他に分類されないもの		1		2	2
N30 膀胱炎	2	2	7	3	4
N32 その他の膀胱障害	2	3	5	5	3
N35 尿道狭窄	1		1		1
N36 尿道のその他の障害	2		1		
N39 尿路系のその他の障害	2	1	11	1	1
N40 前立腺肥大（症）	7	5	9	7	5
N41 前立腺の炎症性疾患	3	2	4	1	1
N42 前立腺のその他の障害		1			1
N43 精巣＜睾丸＞水腫および精液瘤	2		1		1
N44 精巣＜睾丸＞捻転		1		1	1
N49 男性性器の炎症性障害，他に分類されないもの		1			
N70 卵管炎および卵巣炎			1		
N73 その他の女性骨盤炎症性疾患	1				
N85 子宮のその他の非炎症性障害，子宮頸（部）を除く	1				
N99 尿路性器系の処置後障害，他に分類されないもの					1
Q27 末梢血管系のその他の先天奇形		1			
Q38 舌，口（腔）および咽頭のその他の先天奇形	1				
Q40 上部消化管のその他の先天奇形				1	
Q52 女性性器のその他の先天奇形	1			1	
Q61 のう＜嚢＞胞性腎疾患		1		1	
Q64 尿路系のその他の先天奇形					1
Q83 乳房の先天奇形	1				
R04 気道からの出血	1		2	3	1
R56 けいれん＜痙攣＞，他に分類されないもの	5	3			
S00 頭部の表在損傷	3		1		2
S01 頭部の開放創	1		2	3	2
S02 頭蓋骨および顔面骨の骨折	2	2	2	3	
S06 頭蓋内損傷	61	51	37	41	18
S09 頭部のその他および詳細不明の損傷				1	
S10 頸部の表在損傷		1	2		
S11 頸部の開放創			1		
S12 頸部の骨折	3	4	5	5	2
S13 頸部の関節および靭帯の脱臼，捻挫およびストレイン	1		2	1	1
S14 頸部の神経および脊髄の損傷	5	6	17	7	2
S20 胸部＜郭＞の表在損傷	2	1	2	2	
S22 肋骨，胸骨および胸椎骨折	38	38	22	33	25
S25 胸部＜郭＞の血管損傷			1		
S27 その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	19	14	15	9	10
S30 腹部，下背部および骨盤部の表在損傷	5	5	2	3	4

[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
S32 腰椎および骨盤の骨折	49	80	51	59	35
S33 腰椎および骨盤の関節および靭帯の脱臼，捻挫およびストレイン			1		
S34 腹部，下背部および骨盤部の神経および脊髄の損傷	1				
S36 腹腔内臓器の損傷	2	7	1	1	
S37 骨盤臓器の損傷	1	1	1		
S39 腹部，下背部および骨盤部のその他および詳細不明の損傷			1		
S42 肩および上腕の骨折	31	49	31	28	21
S43 肩甲<上肢>帯の関節および靭帯の脱臼，捻挫およびストレイン	7	7	4		
S46 肩および上腕の筋および腱の損傷	1				
S51 前腕の開放創		1		1	
S52 前腕の骨折	26	23	32	30	36
S56 前腕の筋および腱の損傷	4	2	4		
S57 前腕の挫滅損傷	1				
S62 手首および手の骨折	3	2	2	1	
S63 手首および手の関節および靭帯の脱臼，捻挫およびストレイン		1			
S66 手首および手の筋および腱の損傷				1	
S70 股関節部および大腿の表在損傷	1		1	4	2
S71 股関節部および大腿の開放創	1				
S72 大腿骨骨折	209	187	221	234	241
S73 股関節部の関節および靭帯の脱臼，捻挫およびストレイン	1	2	1	3	5
S76 股関節部および大腿の筋および腱の損傷		1			3
S77 股関節部および大腿の挫滅損傷			1		
S79 股関節部および大腿のその他および詳細不明の損傷				2	
S80 下腿の表在損傷	1			2	
S81 下腿の開放創		1			
S82 下腿の骨折，足首を含む	58	39	41	40	29
S83 膝の関節および靭帯の脱臼，捻挫およびストレイン	2	1	1		
S86 下腿の筋および腱の損傷	2	6	2	1	
S87 下腿の挫滅損傷		2			
S89 下腿のその他および詳細不明の損傷	1				
S92 足の骨折，足首を除く	13	11	12	9	9
S93 足首および足の関節および靭帯の脱臼，捻挫およびストレイン	1				1
S97 足首および足の挫滅損傷	1				
T00 多部位の表在損傷	3		4	1	
T02 多部位の骨折	7	6	9	12	7
T17 気道内異物	3	4	6	5	6
T18 消化管内異物		2			1
T19 尿路性器内異物					1
T20 頭部および頸部の熱傷および腐食			1		1
T24 股関節部および下肢の熱傷および腐食，足首および足を除く		2		2	1



[単位：件]

I C D	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
T27 気道の熱傷および腐食				1	
T29 多部位の熱傷および腐食	1				
T39 非オピオイド系鎮痛薬、解熱薬および抗リウマチ薬による中毒	1			2	
T42 抗てんかん薬、鎮静・催眠薬および抗パーキンソン病薬による中毒	6	4	4	2	1
T43 向精神薬による中毒、他に分類されないもの	1			1	
T45 主として全身および血液に作用する薬物による中毒、他に分類されないもの		1			
T50 利尿薬、その他および詳細不明の薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	1	2	2		
T54 腐食性物質の毒作用		1			
T55 石鹼および洗剤の毒作用			1		1
T58 一酸化炭素の毒作用				2	1
T59 その他の気体、フュームおよび蒸気の毒作用	1				
T60 農薬の毒作用	3	1			1
T63 有毒動物との接触による毒作用	9	4	19	4	10
T65 その他および詳細不明の物質の毒作用				1	
T67 熱および光線の作用	6	8	10	7	18
T68 低体温（症）	1		1	1	
T71 窒息	3	3	1	1	5
T75 その他の外因の作用	2	9	4	3	6
T78 有害作用、他に分類されないもの	4	6	3	5	
T79 外傷の早期合併症、他に分類されないもの	4	3	8	3	1
T81 処置の合併症、他に分類されないもの	3	4	6	8	4
T82 心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片の合併症	12	8	17	14	9
T84 体内整形外科的プロステーシス、挿入物および移植片の合併症		4	7	3	3
T85 その他の体内プロステーシス、挿入物および移植片の合併症		2			1
T88 外科的および内科的ケアのその他の合併症、他に分類されないもの	1		2	1	
T90 頭部損傷の続発・後遺症			1		
T91 頸部および体幹損傷の続発・後遺症	1	3	8	5	1
総計	3,791	3,789	3,665	3,653	3,316

## 1-5 主要な手術件数

急性期病院として、多くの手術を安全・確実に遂行することは重要な使命であり、術式別の手術状況を把握していくことが、地域医療に果たしている役割を総合的に判断するための指標となります。

[単位：件]

器官等	手術名称	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
眼 部	<b>眼部の手術</b>	<b>88</b>	<b>162</b>	<b>132</b>	<b>142</b>
	網膜光凝固術（その他特殊なもの（一連につき））	7	13	23	52
	網膜光凝固術（通常のもの（一連につき））	37	93	55	36
	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（その他のもの）	43	56	54	54
	水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	1			
乳 腺	<b>乳腺の手術</b>	<b>12</b>	<b>16</b>	<b>17</b>	<b>21</b>
	乳腺腫瘍摘出術（長径5センチメートル未満）	4	1		1
	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施しないもの）	2	7	2	6
	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの））	3		10	9
	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの））	2	2	3	3
	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。）））	1	4	2	1
	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））		1		1
	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの））		1		
胸 部	<b>胸部の手術</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>7</b>
	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの））	2	2		4
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	1	2	1	2
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）			3	
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	1			1
循 環 器	<b>循環器の手術</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>72</b>	<b>48</b>
	経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	1	1	3	1
	経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	3	2	2	1
	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）			1	
	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	22	21	13	9
	経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	21	29	26	11
	体外ペースメーカー術	8	5	9	4
	ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）	17	9	9	6
	ペースメーカー交換術	2	7	6	7
	植込型心電図記録計移植術	1		1	
	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）（1日につき）（2日目以降）		2		5
	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）（1日につき）（初日）		2	2	2
	下大静脈フィルター留置術	3	1		2
下大静脈フィルター除去術	2	1			

医事システムのデータベースから手術の術式名称と件数を抽出。

[単位：件]

器官等	手術名称	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
内視鏡検査	<b>内視鏡検査</b>	<b>2,235</b>	<b>2,130</b>	<b>2,154</b>	<b>1,671</b>
	内視鏡下嚥下機能検査	1	67	61	53
	喉頭ファイバースコープ	390	318	282	224
	中耳ファイバースコープ				
	気管支ファイバースコープ	9	3	5	5
	食道ファイバースコープ			1	
	胃・十二指腸ファイバースコープ	1,128	1,055	1,032	804
	胆道ファイバースコープ				
	直腸ファイバースコープ				
	大腸内視鏡検査（S状結腸）	16	14	21	27
	大腸内視鏡検査（下行結腸及び横行結腸）	5	3	8	11
	大腸内視鏡検査（上行結腸及び盲腸）	537	497	565	382
膀胱尿道ファイバースコープ	149	173	179	165	
内視鏡手術	<b>内視鏡手術</b>	<b>288</b>	<b>266</b>	<b>283</b>	<b>282</b>
	食道狭窄拡張術（内視鏡によるもの）	2			
	食道狭窄拡張術（拡張用バルーンによるもの）	3			
	食道ステント留置術	1	1		
	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	5	1		
	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	2		1	1
	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）		2		
	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	1	1	1	1
	内視鏡的消化管止血術	7	9	11	6
	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	45	34	47	32
	胃瘻抜去術	3		1	1
	胆嚢外瘻造設術	4	12	2	3
	経皮的胆管ドレナージ術		1	3	
	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	2	3	2	1
	内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴うもの）	1	1		1
	内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	1		2	4
	内視鏡的胆道拡張術	1	1		
	内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	20	19	22	16
	内視鏡的乳頭切開術（胆道碎石術を伴うもの）	10	5	5	4
	内視鏡的胆道ステント留置術	19	13	10	8
	経皮的肝膿瘍ドレナージ術		2		
	内視鏡的膵管ステント留置術	1	1		2
	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチメートル以上）	3	3	7	
	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチメートル未満）	113	156	168	193
	内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2センチメートル未満）	41			
	内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2センチメートル以上）	1			7
	小腸・結腸狭窄拡張術（内視鏡によるもの）			1	2
小腸結腸内視鏡的止血術	2	1			

医事システムのデータベースから手術の術式名称と件数を抽出。

[単位：件]

器官等	手術名称	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
腹部	<b>腹部の手術</b>	<b>64</b>	<b>53</b>	<b>68</b>	<b>63</b>
	ヘルニア手術（腹壁癒着ヘルニア）	4	1	2	2
	ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	40	43	52	44
	ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	9	2	1	3
	ヘルニア手術（骨盤部ヘルニア）（閉鎖孔ヘルニア）	2	1		
	ヘルニア手術（臍ヘルニア）		2	1	1
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	4		3	1
	腹腔鏡下ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	2			
	急性汎発性腹膜炎手術	3	4	9	6
食道・胃部	<b>胃部の手術</b>	<b>18</b>	<b>18</b>	<b>21</b>	<b>15</b>
	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術		1		
	胃縫合術（大網充填術又は被覆術を含む。）	2	6	1	
	胃切開術	1			
	胃切除術（悪性腫瘍手術）	11	6	4	7
	胃全摘術（悪性腫瘍手術）	2	2	8	6
	胃切除術（単純切除術）	1			
	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）			4	1
	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）			1	
	腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）			1	
	胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む。）	1	3	2	1
膵胆肝部	<b>膵臓・胆嚢・肝臓等の手術</b>	<b>25</b>	<b>38</b>	<b>38</b>	<b>38</b>
	胆嚢摘出術	3	3	4	7
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	14	32	29	25
	肝切除術（部分切除）（1歳以上の場合）	3	2	1	2
	肝切除術（外側区域切除）			1	1
	肝切除術（2区域切除）		1		
	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）（2センチメートル以内のもの）（その他のもの）	2			2
	膵頭部腫瘍切除術（周辺臓器（胃、結腸、腎、副腎等）の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合）	1			
	膵頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合）	1			
	脾摘出術	1		3	1
小腸・大腸部	<b>小腸・大腸部の手術</b>	<b>75</b>	<b>73</b>	<b>73</b>	<b>77</b>
	腸管癒着症手術	4	1		
	腹腔鏡下腸管癒着剥離術		1		
	腸重積症整復術（非観血的なもの）	3	2	2	
	腸重積症整復術（観血的なもの）			2	
	小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	1		1	3
	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む）			1	
	虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	6	5	3	4
	虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	2	9	6	3
	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	2	3	3	4
	結腸切除術（小範囲切除）	4	4	2	6
	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	12	12	9	10
	腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）	1	3	2	1
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	8	3	8	9
	人工肛門形成術		1		
	腸瘻造設術	1		2	3
	腸閉塞症手術（腸重積症整復術）（非観血的なもの）	2	3		
	腸閉塞症手術（腸管癒着症手術）	2	3		5
	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術以外の切除術）	2		3	1
	人工肛門造設術	2	4	10	7
	人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	1	2	2	4
	人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴わないもの）		1		
	直腸腫瘍摘出術		1		
	直腸切除・切断術（切除術）	2	1	5	2
	直腸切除・切断術（切断術）	2	1	2	
	直腸切除・切断術（低位前方切除術）	2	1	1	2
	直腸切除・切断術（超低位前方切除術（経肛門的結腸囊肛門吻合によるもの））	1			
	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	2	2	4	3
	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	1			1
	痔核手術（脱肛を含む。）（根治手術）	6	2		
痔核手術（脱肛を含む。）（血栓摘出術）	1	2			
痔核手術（脱肛を含む。）（硬化療法（四段階注射法によるもの））	1		5	2	
肛門周囲膿瘍切開術	2	3			
痔瘻根治手術（複雑なもの）		1			
肛門ポリープ切除術	2	2		1	

[単位：件]

器官等	手術名称	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	<b>泌尿器科の手術</b>	<b>127</b>	<b>136</b>	<b>186</b>	<b>183</b>
泌尿器科関係	副腎摘出術		1		
	経皮的尿路結石除去術（経皮的腎瘻造設術を含む。）		1	1	1
	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）	20	18	22	20
	腎摘出術	2			
	腹腔鏡下腎摘出術		1		
	腎（尿管）悪性腫瘍手術		1		
	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術		1	3	3
	経皮的腎（腎盂）瘻造設術	3	7	8	12
	経尿道的尿路結石除去術（その他のもの）	8	4	10	17
	経尿道的尿管狭窄拡張術			1	
	経尿道的尿管ステント留置術	41	34	46	54
	経尿道的尿管ステント抜去術	6	2	11	9
	尿管皮膚瘻造設術		1	1	
	膀胱内凝血除去術	3	3	3	6
	膀胱異物摘出術（経尿道的手術）		1	5	2
	膀胱結石摘出術（経尿道的手術）	7	6	12	7
	膀胱壁切除術			1	1
	経尿道的電気凝固術	2	3	7	
	膀胱水圧拡張術		1	3	1
	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの））	1	2	2	1
	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他のもの）	2	2	3	3
	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用のもの）	17	26	28	30
	膀胱瘻造設術	1	1	1	
	尿道結石摘出術（前部尿道）	1			
	女子尿道脱手術	1			
	包茎手術（環状切除術）	2	2	3	1
	精巣摘出術	3	4	6	4
	精巣悪性腫瘍手術	1			2
	陰嚢水腫手術（その他のもの）		1	1	1
	精索捻転手術（対側の精巣固定術を伴うもの）			1	1
経尿道的前立腺手術（その他のもの）	3	9	4	2	
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの）	2		1	3	
前立腺悪性腫瘍手術	1	1	1		
バルトリン腺膿瘍切開術		1	1	2	
バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術（造袋術を含む）		2			
	<b>その他の手術</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	
その他	子宮全摘術	1			
	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	1			
	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（開腹によるもの）	2	3	2	

医事システムのデータベースから手術の術式名称と件数を抽出。

[単位：件]

Kコード	手術名称	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
K044	<b>骨折非観血的整復術</b>	<b>76</b>	<b>74</b>	<b>77</b>	<b>34</b>
	骨折非観血的整復術（上腕）	13	9	7	3
	骨折非観血的整復術（前腕）	49	50	54	26
	骨折非観血的整復術（下腿）	1	3	4	
	骨折非観血的整復術（鎖骨）	2	5	2	
	骨折非観血的整復術（手）	7	4	6	3
	骨折非観血的整復術（足その他）	2	3	3	1
	骨折非観血的整復術（大腿）	2		1	1
K046	<b>骨折観血の手術</b>	<b>117</b>	<b>124</b>	<b>142</b>	<b>110</b>
	骨折観血の手術（上腕）	3	6	4	5
	骨折観血の手術（大腿）	70	78	89	76
	骨折観血の手術（前腕）	14	14	14	13
	骨折観血の手術（下腿）	14	11	10	6
	骨折観血の手術（鎖骨）	6	5	10	2
	骨折観血の手術（膝蓋骨）	3	3	3	2
	骨折観血の手術（足）	4	5	10	6
	骨折観血の手術（手舟状骨）		1		
骨折観血の手術（指）	3	1	2		
K047-2	<b>難治性骨折超音波治療法（一連につき）</b>	<b>15</b>	<b>13</b>	<b>8</b>	<b>6</b>
K047-3	<b>超音波骨折治療法（一連につき）</b>	<b>19</b>	<b>21</b>	<b>45</b>	<b>12</b>
K061	<b>関節脱臼非観血的整復術</b>	<b>65</b>	<b>40</b>	<b>57</b>	<b>48</b>
	関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	26	18	25	22
	関節脱臼非観血的整復術（肩）	22	9	21	15
	関節脱臼非観血的整復術（股）	3	4	3	2
	関節脱臼非観血的整復術（肘）	3	4	1	4
	関節脱臼非観血的整復術（指）	8	4	7	4
	関節脱臼非観血的整復術（足）	2			1
	関節脱臼非観血的整復術（肩鎖）	1	1		
K063	<b>関節脱臼観血的整復術</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	
	関節脱臼観血的整復術（肩鎖）	1	1		
	関節脱臼観血的整復術（肩）		1		
	関節脱臼観血的整復術（足）		1	1	
	関節脱臼観血的整復術（膝）			1	
K073	<b>関節内骨折観血の手術</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	<b>11</b>	<b>17</b>
	関節内骨折観血の手術（膝）	3	6	1	2
	関節内骨折観血の手術（肘）	9	5	6	9
	関節内骨折観血の手術（手）	1	3	1	2
	関節内骨折観血の手術（指）			1	
	関節内骨折観血の手術（足）	1	1	1	4
	関節内骨折観血の手術（股）			1	
	関節内骨折観血の手術（肩鎖）	1			
K081	<b>人工骨頭挿入術</b>	<b>49</b>	<b>47</b>	<b>50</b>	<b>53</b>
	人工骨頭挿入術（股）	49	47	49	53
	人工骨頭挿入術（肩）			1	
K082	<b>人工関節置換術（股）</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>1</b>
K082	<b>人工関節置換術（膝）</b>		<b>6</b>	<b>1</b>	
K142	<b>脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術</b>	<b>17</b>	<b>18</b>	<b>9</b>	<b>6</b>
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（前方椎体固定）	2	1	1	
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（後方又は後側方固定）	2	2		2
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（後方椎体固定）	4	6	4	
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（椎弓形成）	9	8	4	4
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（椎弓切除）		1			

医事システムのデータベースから手術の術式名称と件数を抽出。

## 1-6 外来化学療法件数の推移

外来化学療法室にて行われた化学療法の件数です。外来通院しながら化学療法を受けられる患者さんにご家族が安心して治療を続けられるよう、ケアを行っています。

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
外来実施件数	366	327	377	326	491
入院実施件数	170	222	128	143	127

## 1-7 救急車搬送患者数・救急患者数

当院の救急外来を受診された患者数を表します。当院は、24時間に渡りいつでも患者さんを受け入れることができる体制を確保し、安全で標準化された救命救急を行っております。

《受入れ患者数》

[単位：人]

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
救急車 搬送	外来	1,096	1,110	1,047	1,086	967
	入院	826	788	933	937	741
	計	1,922	1,898	1,980	2,023	1,708
救急 患者数	外来	6,908	6,787	6,017	5,206	5,162
	入院	272	315	291	280	219
	計	7,180	7,102	6,308	5,486	5,381

《1日あたり患者数》

[単位：人]

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
救急車 搬送	外来	3.0	3.0	2.9	3.0	2.6
	入院	2.3	2.2	2.6	2.6	2.0
	計	5.3	5.2	5.4	5.5	4.7
救急 患者数	外来	18.9	18.6	16.5	14.3	14.1
	入院	0.7	0.9	0.8	0.8	0.6
	計	19.7	19.5	17.3	15.0	14.7



## 1-8 褥瘡推定発生率・有病率

褥瘡（床ずれ）は予防的ケアで防止することが重要です。褥瘡が発生すると治りにくく在院日数の延長や患者さんへの苦痛を伴うことが多いため、患者さんへの大きな負担となります。褥瘡が発生する危険因子を把握し予防対策を行うことが重要で、本指標はその質を評価する指標となります。

褥瘡推定発生率・有病率

[単位：％]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
褥瘡有病率	6.18	7.30	6.24	4.60	7.01
褥瘡推定発生率	2.39	3.21	2.76	2.67	3.03

### 褥瘡推定発生率

$$\frac{\text{分子 調査日に褥瘡を保有する患者数（入院時既に褥瘡保有が記録されていた患者除く）}}{\text{分母 調査日の入院患者数（調査日新規入院除く）}} \times 100$$

入院患者数には、1名の患者さんが褥瘡を複数部位有していても、患者数は1名として数えています。入院時既に褥瘡を保有していた患者さんであっても、新たに入院中に褥瘡が発生した場合、院内褥瘡発生者として取り扱い、褥瘡推定発生率を算出しています。

## 1-9 MRSA 発生率

MRSA感染率の年次変化をみるための指標です。院内感染を防止するため、当院では感染管理対策室を設け、感染防止に係る業務や院内への周知徹底に取り組んでいます。

[単位：件、％]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規発生件数	109	69	110	108	103
院内発生件数	-	38	65	52	62
発生率（％）	14.80％	5.00％	2.02％	2.14％	2.32％
新規検出率（％）	-	0.87％	1.41％	1.33％	1.47％

$$\text{発生率} = \text{MRSAに感染した入院延患者数} \div \text{入院延患者数}$$

## 1-10 転倒・転落率

全入院患者を対象に入院期間中の延患者人数に対する期間中に発生した転倒転落の件数の割合です。

[単位：件、%]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
転倒・転落数	108	151	143	129	105
損傷数	5	9	5	15	21
発生率（%）	1.47	1.98	1.87	1.68	1.47
損傷率（%）	0.06	0.11	0.06	0.18	0.29

$$\text{転倒・転落発生率} \quad \text{発生率} = \frac{\text{報告件数}}{\text{入院述べ患者数}} \times 1000$$

$$\text{転倒・転落損傷発生率} \quad \text{発生率} = \frac{\text{中度・重度の報告件数}}{\text{入院述べ患者数}} \times 1000$$

## 各科に関する指標

### 2-1 薬剤に関する指標

#### 処方箋枚数

処方箋枚数は、医師が患者さまの病気の治療に必要な薬の種類や量、服用法を記載した書類の枚数です。薬剤師が処方箋の内容が適正であるか確認した後、調剤します。

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
院内処方（外来）	3,144	3,133	2,935	3,018	2,821
院内処方（入院）	20,242	19,513	19,662	20,310	19,109
院外処方	77,622	73,068	68,888	67,127	63,847

#### 無菌製剤処理件数

無菌製剤とは無菌であることを検証した製剤であり、経験豊富な薬剤師がクリーンベンチ（空気中の細菌を取り除いた空間）において調剤を行った件数です。

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
中心静脈栄養調製	744	762	534	1,180	1,739
抗がん剤調製（外来）	256	244	247	328	421
抗がん剤調製（入院）	179	179	110	157	138

## 2-2 画像診断に関する指標

### 検査項目別実施件数

画像診断とは、電離放射線（X線など）、超音波、核磁気共鳴などを用いて、主として疾患による形態上の変化を画像化し診断することで、この検査を実施した件数です。

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
CT検査	9,507	9,335	9,499	9,717	8,526
MRI検査	2,759	2,821	2,568	2,474	2,405
心臓カテーテル	215	219	214	202	151
核医学検査（RI）	402	407	371	384	347
マンモグラフィー	556	580	605	563	535

### 高額医療機器の活用件数（共同機器利用と画像撮影依頼等の紹介）

当院の保有する高額医療機器を、近隣クリニック等の団体にて活用していただいた件数です。

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
CT検査	488	532	610	635	654
MRI検査	785	847	818	825	947
核医学検査（RI）	92	96	82	105	87

## 2-3 臨床検査に関する指標

### 救急医療の指数

《救急医療指数の定義》

#### 緊急対応可能検査及び割合

院内で実施する検体検査における検体受付後60分以内での報告、及び生理検査における当日報告が可能な緊急対応可能検査項目数とその割合

(計算式)

$$\text{緊急対応可能検査項目数} \div \text{全体検査項目数} \times 100$$

#### 緊急検査に対する所要時間 (TAT : ターンアラウンドタイム)

院内で実施する生化学検査における緊急検査依頼の検体受付から報告確定までの平均時間

#### 精度管理調査評価評点

外部精度管理における日本医師会臨床検査精度管理調査の結果 (評価項目修正点数)

日本臨床検査技師会精度管理調査の結果 (AB評価%)

[単位 : 個、%、点]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
救急対応検査項目 (検体)	122個	122個	122個	124個	124個
割合 (%)	93.0%	93.1%	93.1%	93.2%	93.2%
救急対応検査項目 (生理)	17個	17個	17個	17個	17個
割合 (%)	81.0%	81.0%	81.0%	81.0%	81.0%
緊急検査所要時間 (TAT)	46分	36分	39分	31分	34分
精度管理評価 (日医) 評点	98.7点	99.7点	97.4点	98.7点	99.1点
精度管理評価 (日臨技) 評点	99.0点	99.5点	99.5点	100.0点	98.6点

## 検査項目別実施件数

診療目的で行われる患者さんの傷病状態を評価するため、患者さんから採取した血液や尿、便、細胞等を調べる「検体検査」と、心電図や脳波など患者を直接調べる「生理機能検査」の2つに分けられます

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
尿・糞便検査	35,000	31,906	28,527	30,735	25,236
血液学的検査	74,416	71,905	70,248	78,695	66,088
生化学検査	572,632	547,405	5,425,445	595,168	521,714
免疫学的検査	42,393	41,555	40,874	44,421	36,535
微生物学的検査	5,755	5,188	5,062	5,137	4,929
生理学的検査	8,880	8,917	8,830	9,065	8,606
輸血関連検査	3,398	2,841	3,080	3,229	3,121
病理学的検査	2,313	2,092	1,962	1,953	1,779

## 2-4 リハビリテーションに関する指標

疾患別リハビリテーション実施件数

疾患別（心大血管疾患・脳血管疾患・運動器疾患・呼吸器疾患・廃用症候群・がん疾患・接触嚥下）のリハビリテーション実施件数です。

[単位：件]

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
脳血管疾患	17,538	17,569	17,978	17,301	15,396
運動器疾患	13,611	14,356	12,410	14,761	13,552
呼吸器疾患	86	257	467	1,117	1,022
心大血管	183	168	252	497	1,348
がん	-	1,040	1,746	2,312	2,037
廃用症候群	8,465	11,449	12,021	10,856	9,475
摂食機能療法	4,140	3,597	2,972	5,516	4,161

※統計期間：1月～12月

## 2-5 栄養に関する指標

### 栄養指導実施件数

栄養知識の伝達、食生活面の具体的な指導・援助を行って健康の維持・増進を図る活動件数です。

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入院栄養指導	648	521	521	486	526
外来栄養指導	392	428	444	449	484
集団栄養指導	-	44	61	50	44

### 栄養サポートチーム（NST）回診件数

医師や管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・看護師・言語聴覚士・理学療法士・歯科衛生士などの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い、入院患者さんに対して栄養支援チームが活動した件数のことです。

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
合計	648	772	876	1,013	1,015

### NST外来件数

外来診療にて、医師や管理栄養士・看護師・言語聴覚士などの専門職スタッフが連携し、嚥下機能評価を実施し、その結果に応じて嚥下リハビリ・栄養指導を実施した件数のことです。

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
合計	4	11	34	22	17



## 2-6 医療機器の安全管理に関する指標

ME機器（Medical Engineering（医用工学）の頭文字を取った略称）で、特に患者の診断や治療、監視に使用する医療機器を指します。ME機器の故障による事故を未然に防ぐため、使用前・使用后、また定期的に点検を行っている件数です。

[単位：件]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
点検件数	1,376	1,575	1,879	2035	2144

# 看護に関する指標

## 3-1 認定看護師数

認定看護師とは特定の看護分野にて熟練した看護技術と知識を持ち水準の高い看護を実践できる、専門的な資格を持った看護師です。

	資格分野名	知識と技術（一部）	取得者数
1	救急看護	・救急医療現場における病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 ・災害時における急性期の医療ニーズに対するケア ・危機状況にある患者・家族への早期的介入および支援	
2	皮膚・排泄ケア	・褥瘡などの創傷管理およびストーマ、失禁等の排泄管理 ・患者・家族の自己管理およびセルフケア支援	2名
3	集中ケア	・生命の危機状態にある患者の病態変化を予測した重篤化の予防 ・廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハの実施	
4	緩和ケア	・疼痛、呼吸困難、全身倦怠感、浮腫などの苦痛症状の緩和 ・患者・家族への喪失と悲嘆のケア	1名
5	がん化学療法看護	・がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理 ・副作用症状の緩和およびセルフケア支援	1名
6	がん性疼痛看護	・痛みの総合的な評価と個別的ケア ・薬剤の適切な使用および疼痛緩和	
7	訪問看護	・在宅療養者の主体性を尊重したセルフケア支援および ケースマネジメント看護技術の提供と管理	1名
8	感染管理	・医療関連感染サーベイランスの実践 ・各施設の評価と感染予防・管理システムの構築	1名
9	糖尿病看護	・血糖パターンマネジメント、フットケア等の疾病管理および療養生活支援	1名
10	不妊症看護	・生殖医療を受けるカップルへの必要な情報提供および自己決定の支援	
11	新生児集中ケア	・ハイリスク新生児の病態変化を予測した重篤化の予防 ・生理学的安定と発育促進のためのケアおよび親子関係形成のための支援	
12	透析看護	・安全かつ安楽な透析治療の管理 ・長期療養生活におけるセルフケア支援および自己決定の支援	
13	手術看護	・手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理 (体温・体位管理、手術機材・機器の適切な管理等) ・周手術期（術前・中・後）における継続看護の実践	
14	乳がん看護	・集学的治療を受ける患者のセルフケアおよび自己決定の支援 ・ボディイメージの変容による心理・社会的問題に対する支援	
15	摂食・嚥下障害看護	・摂食・嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防 ・適切かつ安全な摂食・嚥下訓練の選択および実施	2名
16	小児救急看護	・救急時の子どもの病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 ・育児不安、虐待への対応と子どもと親の権利擁護	
17	認知症看護	・認知症の各期に応じた療養環境の調整およびケア体制の構築 ・行動心理症状の緩和・予防	2名
18	脳卒中リハビリテーション看護	・脳卒中患者の重篤化を予防するためのモニタリングとケア ・活動性維持・促進のための早期リハビリテーション ・急性期・回復期・維持期における生活再構築のための機能回復支援	1名
19	がん放射線療法看護	・がん放射線治療に伴う副作用症状の予防、緩和およびセルフケア支援 ・安全・安楽な治療環境の提供	
20	慢性呼吸器疾患看護	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理 ・呼吸機能維持・向上のための呼吸リハビリテーションの実施 ・急性増悪予防のためのセルフケア支援	
21	慢性心不全看護	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた生活調整及びセルフケア支援 ・心不全増悪因子の評価およびモニタリング	

### 3-2 看護師特定行為の認定

看護師特定行為とは、医師等の診療の補助です。一定の研修を受けた看護師が、手順書により診療の補助を実施します。実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が必要とされ、厚生労働省令で定められている21区分38行為をいいます。

区分	名称	行為	特定行為	認定者数	区分	名称	行為	特定行為	認定者数
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	1	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整						
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	2	侵襲的陽圧換気の設定の変更		11	創傷管理関連	19	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	
		3	非侵襲的陽圧換気の設定の変更				20	創傷に対する陰圧閉鎖療法	
		4	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		12	創部ドレーン管理関連	21	創部ドレーンの抜去	
		5	人工呼吸器からの離脱		13	動脈血液ガス分析関連	22	直接動脈穿刺法による採血	
6	気管カニューレの交換		23	橈骨動脈ラインの確保					
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	6	気管カニューレの交換		14	透析管理関連	24	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	
4	循環器関連	7	一時的ペースメーカの操作及び管理		15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	25	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	1名
		8	一時的ペースメーカリードの抜去				26	脱水症状に対する輸液による補正	
		9	経皮的心臓補助装置の操作及び管理		16	感染に係る薬剤投与関連	27	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	
		10	大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整		17	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	28	インスリンの投与量の調整	
5	心嚢ドレーン管理関連	11	心嚢ドレーンの抜去		18	術後疼痛管理関連	29	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
6	胸腔ドレーン管理関連	12	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更		19	循環動態に係る薬剤投与関連	30	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	
		13	胸腔ドレーンの抜去				31	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
7	腹腔ドレーン管理関連	14	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）				32	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
		15	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換				33	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
8	ろう孔管理関連	16	膀胱ろうカテーテルの交換		34	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整			
		17	中心静脈カテーテルの抜去		20	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	35	抗けいれん剤の臨時的投与	1名
9	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	17	中心静脈カテーテルの抜去				36	抗精神病薬の臨時的投与	
10	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）	18	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入		21	皮膚損傷に係る薬剤投与関連	37	抗不安薬の臨時的投与	
		19	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの抜去				38	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整	

## 地域医療連携に関する指標

### 4-1 紹介率・逆紹介率の推移

紹介率とは他の医療機関より紹介状を持参した初診患者さんの割合を示し、逆紹介率とは当院から他の医療機関へ紹介状を作成した患者さんの割合を示す指標です。昨今の医療情勢では、地域の中で各医療機関の役割分担を進めた上で、医療機関同士の連携を密にすることが重要となっています。

[単位：件、％]

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
①初診患者数	外来	18,599	16,652	15,014	14,707	13,687
	入院	1,138	1,163	1,047	1,137	968
	合計	19,737	17,815	16,061	15,844	14,655
②紹介患者件数 (初診患者)	外来	1,717	1,650	1,754	1,721	1,618
	入院	489	541	527	629	508
	合計	2,206	2,191	2,281	2,350	2,126
③救急自動車搬送患者数 (初診患者)	外来	781	829	774	830	688
	入院	472	484	556	573	487
	合計	1,253	1,313	1,330	1,403	1,175
④うち、休日また夜間患者数	外来	555	556	491	574	450
⑤休日・夜間の救急患者数 (初診患者)	外来	4,081	3,905	3,571	3,614	3,646
	入院	411	444	442	431	366
	合計	4,492	4,349	4,013	4,045	4,012
紹介率(%)		14.7%	16.7%	19.6%	20.6%	20.7%
逆紹介件数		2,910	2,806	2,736	3,165	3,084
逆紹介率(%)		19.5%	21.3%	23.5%	27.8%	30.0%